

〔正誤表〕

LPEC 法のすべて

—メッシュを使用しない新生児から高齢者の腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術—

このたびは、お買い上げいただき誠にありがとうございます。本誌の記載において、以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

株式会社 南山堂

該当箇所	誤	正
p.88 見出し	1 成人 LPEC 法の適応と術後成績	1 成人 LPEC 法の適応と術後成績 
p.103 見出し	4 対側外鼠径ヘルニアに対する LPEC 法② 	4 対側外鼠径ヘルニアに対する LPEC 法②
p.110 図 5-3		図のさしかえ
p.112 図 5-6		図のさしかえ
p.114 図 5-10		図のさしかえ

2024 年 7 月

[QR コード]

1 成人 LPEC 法の適応と術後成績



[図のさしかえ]

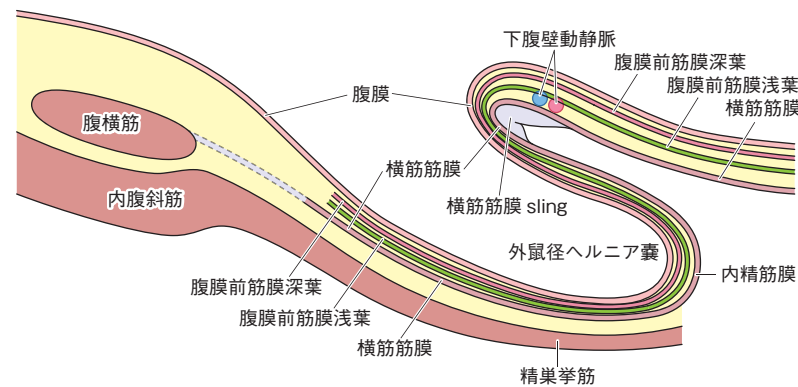


図 5-3 内鼠径輪の断面図

内鼠径輪の内縁は鼠径管内に向かう横筋膜が重なるように二重になり、横筋膜の sling が形成される。外縁は外側から斜めに鼠径管に向かうため横筋膜の存在は同定できない。

(出典 欄瀬信太郎：鼠径部の局所解剖。ヘルニアの外科，図 21，南江堂，2017。を参考に作製)

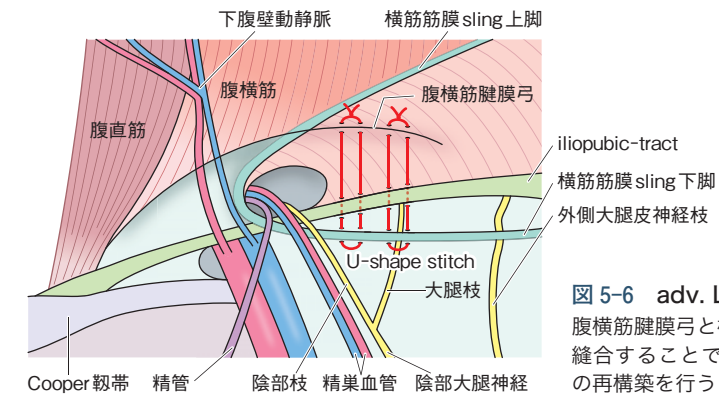


図 5-6 adv. LPEC 法のコンセプト

腹横筋腱膜弓と横筋膜 sling の下脚あるいは IP tract を縫合することで、内鼠径輪外側の補強とヘルニア門外縁の再構築を行う (transversalis fascia repair)。

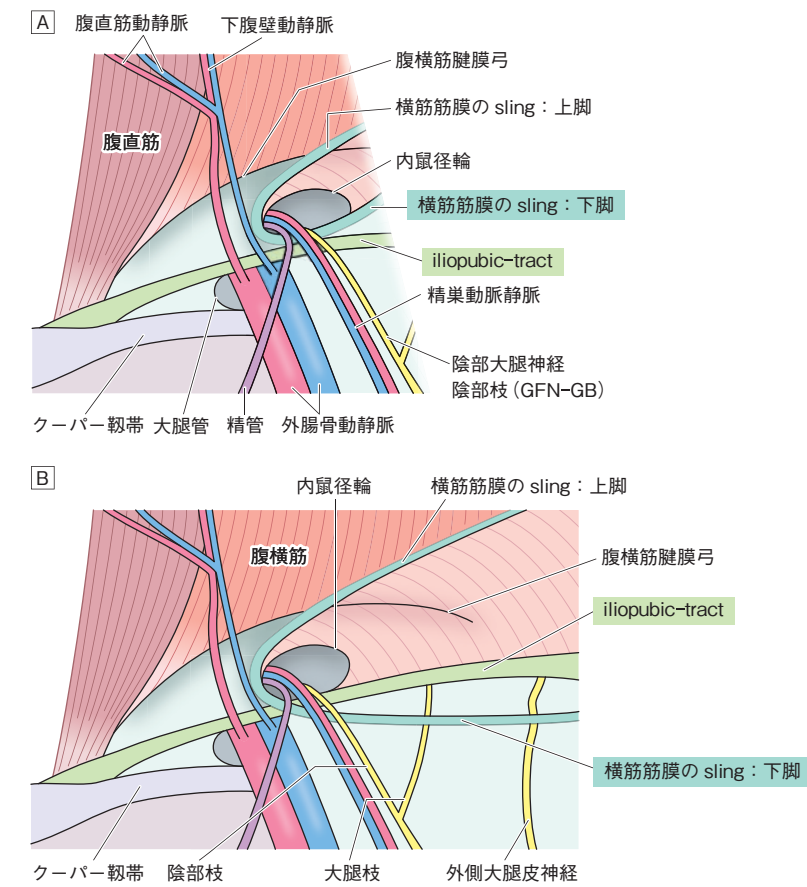


図 5-10 右内鼠径輪の腹膜前腔から見たシェーマ⁸⁾

(出典 欄瀬信太郎：鼠径部の局所解剖。ヘルニアの外科，図 21，南江堂，2017。を参考に作製)